

# 活動実績報告書

令和 4 年 11 月 24 日

登録番号 20220631

氏 名 小島 正

## 1. 活動状況

令和3年4月1日～令和4年9月

### ①活動の概要

・群馬県 吾妻郡内の町村(4町2村)で、森林経営管理制度(意向調査、経営管理権集積計画、経営管理実施権配分計画)を推進するため、その業務を支援した。

### ②当該活動を挙げた理由

・地域の森林・林業を活性化、林業の競争力の強化、森林の新たな価値を創出するため、森林経営管理制度を活用することが必要である。

### ③当該活動における、あなたの立場と役割

・市町村森林整備計画の作成や森林経営管理制度の運用を支援する立場で、市町村・森林組合・森林組合連合会等との協力関係を構築すること。

### ④活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

#### 1) 市町村森林整備計画(ビジョン)と森林状況(樹種や林道等)の把握

・町村の森林管理の状況を面的に俯瞰する必要があるため、樹種配置、過去の施業状況、路網を俯瞰できる図を作成(図-1)し、町村担当者、森林組合、森林組合連合会との話し合いを開催した。

・本年度は、市町村森林整備計画の樹立が必要なので、林野庁から配布された「もりぞん」QGIS(フリーソフト)のプラグインを利用して各町村にゾーニングした図面(図-2)を提供した。

#### 2) 森林経営管理制度について

・定期的な打合せを行うことにより、市町村、森林組合等が連携できる関係を構築した。

・QGISを利用して、意向調査や経営管理権集積計画の箇所を図化して、集約化できそうな箇所を把握することについて支援した。

・町村の職員が、自前で意向調査の結果を面的に捉えることができるように、GISシステムのメンテナンス会社に対して、業務内容等を説明し、マニュアル作成などを支援した。

・意向調査の回答状況を面的に把握して、経営管理権集積計画を作成する候補地等について意見交換しながら、経営管理制度の運用を推進した。

#### 3) 森林経営管理制度と林地台帳の連携について

・群馬県で作成した林地台帳原案は、森林簿の地番と市町村の林地台帳の地番で相関関係を構築したため、森林簿の地番に誤りがあると、林地台帳の地番に対して誤った林小班番号を付与した状況になっている。そこで、町村の地番図と森林計画図(林小班)をQGISで空間結合(レイヤーの重なりを利用したデータ結合)して、町村に情報提供した。

・林地台帳に意向調査の結果等を反映できるように、林地台帳システムの操作方法や、システム改修の必要性について、関係者で打ち合わせを行なった。

#### 4) 町村の森林経営管理制度を運用する体制

- ・意向調査等が先延ばしにならないように、1～2か月に一度、市町村を訪問、又は電話して、経営管理制度の進捗について、話し合う機会を設けた。次回の打ち合わせ日時と、その時までに行うべき作業を確認することで、作業の先の伸ばしを防止した。
- ・森林環境譲与税を利用して、会計年度職員を雇用できることを町村に周知した。また、業務の内容を習熟できるように、町村職員との打ち合わせには同席するように勧めた。

#### ⑤ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

・町村の担当者は、意向調査、経営管理権集積計画の作成・公告、経営管理実施権配分計画の作成・公告を一通り経験し、仕事が順調に進むようになると異動することが多い。恒常的に業務を推進するためには、協議会等の支援組織をつくり、継続的に支援することが必要と思われる。



図-1 群馬県 高山村の人工林の密性の状況



図-2 群馬県 高山村 森林作業効率 (収益性)  
(注) 林野庁が配布した森林ゾーニング実施マニュアルを参考に作成

登録番号 20220631 氏名 小島 正

## 2. 研修の受講状況

研修名 森林作業システム研修 令和 3 年 10 月  
(実施主体) 林野庁森林技術総合研修所

## 3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

森林計画研究会 会報(令和 3 年 11 月 30 日発行)に掲載  
【森林調査・計画部会】優秀賞 「推定(推測)地番図」の作成委託について

第 67 回森林計画研究発表大会(平成 2 年 2 月 6 日)での発表  
QGIS を利用した「意向調査で利用する地番図」作成事例について

第 68 回森林計画研究発表大会(令和 3 年 2 月 22 日)での発表  
「推定(推測)地番図」の作成委託について

第 69 回森林計画研究発表大会(令和 4 年 2 月 25 日)での発表  
地籍図のある地域での森林経営管理制度の運用事例について